

2021年度 第1回臨時理事会 議事録

日時:2021年9月8日(水) 19:00-20:45

場所:オンライン開催

出席者:田辺, 田村, 山田, 原田, 鳥海(書記), 鶴飼, 山下, 永井, 土谷, 野々部, 諸星, 森口, 奥田, 古川,
田中

欠席者:田口, 西松

出席監事:松林

欠席幹事:細田

【議長の選出】

原田庶務理事より, 議長を務める予定であった田口会長が欠席となったため, 代表理事の中から議長を選出する旨説明があり, 田辺副会長が議長に選出された。

【審議事項】

1. 職員の退職の件

鳥海庶務理事より, 事務局長から退職届が提出された旨報告があった。事務局長職の辞任と退職日に時間差があるのは有給休暇の消化を想定したものであり, その間事務局長が不在となることを回避するためとの説明があった。審議の結果, 退職届を受理することが承認された。 続けて, 本理事会決議後の事務局長の勤務については, 次の事務局体制への円滑な引継ぎを行うために, 庶務理事の指示に従うことが決議された。

2. 事務局体制の件

鳥海庶務理事より, 事務局長退職後の事務局体制について説明があった。山田副会長から事務局経費にどの程度の影響があるのか質問があった。鳥海庶務理事より, 正確には計算していないが, 期首予算と比べて増加するのはパート職員の給与相当額であり, 影響はさほど大きくないと予想される旨説明があった。審議の結果, 議案通りとすることが承認された。 なお, 事務局長を空位とし, 理事が事務局長代行を務めることに関して, 審議事項3の職員就業規定の改定が必要であることが説明された。

本理事会終了後, 追加の議案として, 事務局長を代行する理事として鳥海庶務理事を指名することをメール審議し, 利害のある鳥海庶務理事を除く16名の全理事と2名の幹事から賛成意見が表明され決議された。

3. 職員就業規程改定の件

原田庶務理事より, 審議事項2で承認された事務局体制を実現するために必要となる職員就業規定を改定案について説明があり, 議案通りに改定することが承認された。

4. 会員管理システムの移行に伴う、会員データの外部提供の件

鳥海庶務理事より、現在利用している会員管理システムの問題点について説明があった。この問題を解決するために、会員管理システムを移行したい旨説明があり、具体的な移行先の候補となっている会員管理システムが紹介された。この会員管理システムへの移行手順を確認し、使い勝手を評価するためには、現在の会員データを業者に提供する必要がある旨説明があった。土谷編集理事から、論文誌と機関誌の編集に関するシステムに影響するのではないかと質問があった。原田庶務理事から、7月に行った国際文献社との打合せで、会員管理システムを移行する可能性があることを告げているが、そこでは問題があるという発言はなかった旨報告があった。鶴飼国際理事から、本理事会での決議によって、新システムへの移行が確定するのではないことを確認したい旨発言があった。鳥海庶務理事から、10月の第4回理事会で新システムへの移行を決議する予定であると回答があった。土谷編集理事から、国際文献社の担当者と影響の有無について確認したい旨確認があった。鳥海庶務理事から、積極的に確認してほしい旨回答があった。鶴飼国際理事から、国際文献社に通告するタイミングについて質問があった。原田庶務理事から契約期限の3か月間である11月であるとの回答があった。田中大会理事から、個人情報保護法に抵触しないか確認する必要がある旨指摘があった。田村副会長から、学会Webサイトやメールマガジンなどで会員に周知することができるとの意見が寄せられた。鳥海庶務理事から、業者に先行事例を確認するとともに、顧問弁護士に法的な問題がないか確認するという回答があった。以上の審議の結果、個人情報保護の面で問題がないことを確認できた場合に業者に提供することが承認された。

導入するオプション機能に関する審議では、鶴飼国際理事から、会員管理システムの利用料の算定基準にある単価×会員数において、会員数は利用者数を意味するのか質問があった。鳥海庶務理事から、退会者を除いた会員数である旨回答があった。山田副会長から、会員増強を意識すれば、クレジット決済とWebコンビニ決済は必須である旨意見があった。審議の結果、議案通りのオプション機能を導入する方向で進めることが承認された。

5. 電子投票システムの導入見直しの件

鳥海庶務理事より、審議事項4で説明のあった会員管理システムに、連動できる電子投票システムがあることから、第2回理事会で決議した「e投票」の導入を一時凍結している旨報告があった。続けて、e投票の導入した場合、会員管理システムと連動できる電子投票システムを導入した場合、それらを導入しなかった場合のメリット・デメリットが説明された。土谷編集理事と山田副会長から、投票の匿名性が重要である旨指摘があった。鶴飼国際理事から、まずはe投票を導入し、会員管理システムのオプションとなる電子投票システムには投票の匿名性を満たすように改善要求を行いつつ、2年後に再検討してはどうかという提案があった。鳥海庶務理事から、メールアドレスが登録されていない一部会員に対しては、従来方式の投票が行われる旨補足説明があった。審議の結果、e投票を導入することが決議された。

【報告事項】

6. 会長会務代行の件

鳥海庶務理事より、会長が対象不良のため当面の間休職する旨報告があった。休職の間、会長の会務を副会長3名で分担して代行する旨説明があった。土谷編集理事から、会長が不在となった場合の会

務の執行に関して規程等に記載はあるのか質問があった。原田庶務理事から規程に記載されている場合もあるが完全ではないとの説明があった。

7. 機関誌学会だより削減の件

原田庶務理事から、来年度以降の冊子体の送付形式に関する議論の経過が報告された。報告では、現在検討している、希望者のみ実費程度の負担で冊子体を発送する方式を実現するためには、現在の会員管理システムでは難しく、会員管理システムの移行が必要である旨説明があった。田村副会長から、国際文献社との打合せの場に土谷編集理事にも参加してもらうのが良いだろうと提案があり、土谷編集理事が了承した。鳥海庶務理事から、外部から学会事務局に年間購読料に関する問合せがきており、価格が決まるのはいつ頃かという質問があった。野々部編集理事から、国際文献社との契約が完了した時点という回答があった。

8. 理事会資料の提出方法(補足)の件

鳥海庶務理事より、第4回理事会以降の資料の提出方法について、ファイルサーバにファイルをアップロードする際に、ファイル名のエンコードに関して、必ず【UTF-8】を指定するよう説明があった。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2021年度 第1回臨時理事会

議事録署名人

議長(副会長) 代表理事 田辺 隆人

(副会長) 代表理事 田村 明久

(副会長) 代表理事 山田 昭雄

監 事 松林 伸生